



ともにほほえむ

ほほえみ

飯山 イト様(100歳) タウン誌を読むのが大好きで、食事も若い人と同じように食べ、起床時より寝るまで起きて過ごしています。

総会記念
公開講座

社会福祉を巡る動向 ～社会福祉法改正の背景～

社会福祉法人中心会 理事長 浦野 正男氏

平成27年6月13日(土) 15時10分より、社会福祉法人中心会の浦野正男理事長をお招きし、「社会福祉を巡る動向～社会福祉法改正の背景～」と題した公開講座を開催した。54名が参加し、日頃あまり触れることの少ない内容のお話しを真剣に聴いていた。以下浦野先生の資料より抜粋して紹介する。



浦野 正男 (ウラノ マサオ)

社会福祉法人中心会理事長

昭和58年 社会福祉法人中心会に入職。施設長、本部事務局長専任を経て平成17年理事長に就任。全国社会福祉施設経営者協議会・青年経営者会にて研修企画部会長、副会長、会長を歴任。全国社会福祉施設経営者協議会にて協議員、常任協議員、総務委員長を経て、現在は、地域公益事業推進委員長。全国社会福祉協議会・政策委員会幹事(平成21年～27年3月まで)

「社会福祉施設経営管理論」(共著)など著書多数。

I. 「社会福祉法改正」に至る経過の振り返り

1. 社会福祉法人を取り巻く外部環境の変化

(1) 社会福祉基礎構造改革の進展

① 措置から契約への転換

老人福祉：介護保険制度

障害福祉：支援費制度

保 育：認定こども園⇒契約原理の導入

② 供給主体の多様化

老人福祉：居宅サービスでは社会福祉法人以外の供給主体が多数派

特定施設による居住型介護サービスの急拡大(特養を凌駕)

障害福祉：地域移行の促進⇒社会福祉法人以外が参入可能な分野の重要度増大

保 育：都市部を中心に供給主体の多様化が進展

(2) 社会福祉法人に投げかけられている疑問

(市場原理派・新自由主義派から)

① 市場原理、契約制度の下で行われる事業を行うのに、特定の種類の法人である必要があるのか？

② 供給主体が多様化した事業分野において、社会福祉法人だけを税・補助金等で優遇する必要があるのか？

③ 煎じ詰めると、そもそも、「措置」(行政の代行)以外の分野で社会福祉法人が必要なのか？

(「新しい公共」から)

① 社会福祉法人の事業は「制度ビジネス」(公的制度の枠組みの中で、カネがついてくる人だけを対象とする事業)ではないか？

② 新しい福祉課題への挑戦や、「制度の谷間」に陥っている人々への支援には関心が薄いのではないか？

II. 社会福祉法人の経営課題

1. 行う事業の公益性の強化

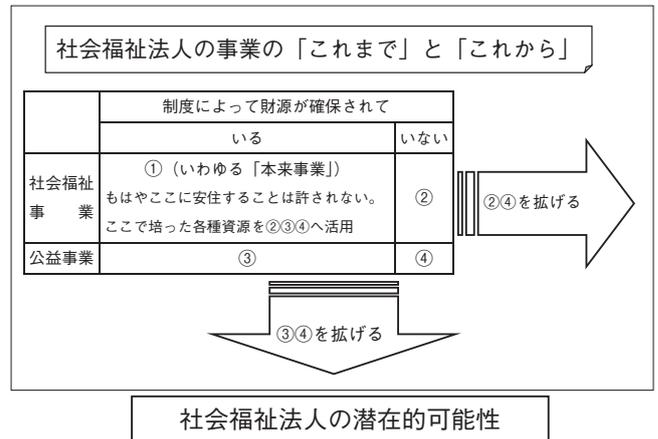
- 1) 既存事業（財源が制度的に保障された事業）においても、低所得者等に最も配慮した経営を行う。
 - 介護事業における低所得者負担軽減の取り組みを進め、実施率100%を達成する。
 - 多問題ケース、虐待ケースなど社会福祉的支援をより必要とする利用者を積極的に受け入れる。
- 2) 「制度の谷間」の事業に積極的に取り組む。
 - 「居場所づくり」「中間的就労」「学習支援」等に取り組む。
 - これらの取り組みに、収支差額の一部を投入することや、人的、物的資源を活用する。
- 3) 法人間の連携、共同による取り組みを促進する。
 - 連携、共同することによって、点ではなく面で取り組むことができる社会福祉法人の強みを生かす。
 - たとえば、大阪府社協老人福祉部会の「生活レスキュー事業」等の取り組みを参考に、全国に拡げる。

2. 組織統治の公共性の高度化

- 1) 正確な財務諸表の作成、情報開示
 - 公費、社会保険給付を主財源とし、税制優遇を受ける組織として、所轄庁のみならず、国民一般に対する説明責任を果たす。
- 2) 地域のニーズに向き合った法人の長・中期計画を策定し、開示する。
 - 地域社会に対して、株式会社等の他の供給主体とは異なる社会的使命を担い、公益的取組等を通じて、地域社会に貢献することを発信する。
 - いわゆる「内部留保」批判に対する説明責任を果たす。
- 3) 第三者評価の積極的な活用、苦情解決の取り組み促進
 - サービスの質の向上に自主的、積極的に取り組む姿勢を示す。

(第三者評価は所轄庁の指導監査の代替ではなく、サービスの質の向上を支援する仕組みであるという原点に立ち返る。)

- 利用者の権利擁護に積極的に取り組む姿を社会に示す。(苦情解決の第三者委員を設置する。)
- 4) 地域社会との連携強化の促進
 - 評議員会、運営協議会等を通じて、地域社会の声を経営に取り入れ、地域社会とともに歩む組織の姿を示す。



- ①全国に17,000を超える社会福祉法人がある。→“点”ではなく、“面”で「制度の谷間」に取り組むことができる。
- ②社会福祉士をはじめとする専門職人材
- ③資金力→全国17,000超の社会福祉法人が、収支差額の10%を「制度の谷間」の事業に投じれば、数百億円規模の事業が可能。(営利法人の実効税率は35%)
- ④「儲からない仕事」をやっても、文句を言う「株主」はいない。
- ⑤法的に禁止されている事業は、ほとんどない。

まだ、その潜在的可能性を自覚していない法人が少なくない。

公開講座から学んだこと

横須賀・三浦支部 金井 直子

社会福祉法人中心会理事長浦野正男先生から、「社会福祉を巡る動向～社会福祉法改正の背景～」として、ご講演をいただきました。先生からは、第189回国会で社会福祉法改正が予定されており、社会福祉法人のあり方が大きく変化するなかで、今まで以上に①社会福祉的支援の充実②インフォーマル事業の展開③法人間の連携・共同④経営(お金の流れ)の見える化⑤サービスの質の向上と権利擁護⑥地域社会との連携強化が求められていること。そしてこれらを行うためには、「社会福祉法人の潜在的可能性(全国17,000法人、専門職人材、資金力、株主制度ではない、事業の法的規制はない)」に着目する必要があるということでした。今回の講演を通して、社会福祉法人がこれらの役割を担っていくためには、介護福祉士の活躍も必要であり、そのためにはマクロ(制度)・メゾ(地域)の視点を持つことが私たちに求められていると思いました。

社会福祉に関する講演を聴いて

横浜南支部 中谷 英二

最初に、社会福祉法人を取り巻く社会環境が、どのようになっているか、ということから講演が始まった。過去の経緯は、措置から契約へと新たな分野への変遷があり、かつ、サービス供給主体の多様化が促進した。また、社会福祉法人に対する批判的な団体(市場原理派・新自由主義派)からは、契約制度の下で行われる事業に、社会福祉法人である必要性、供給主体が多様化した事業での、社会福祉法人だけを税制等で優遇する必要性が問われている。

そこで、今後の社会福祉法人としての在り方としては、地域社会との連携強化が必要と考え、運営協議会を通じ、地域社会のニーズを取り入れていく。

今後は、新しい福祉課題や制度の狭間にいる人々への対応等、社会福祉法人のやるべきことは、山積していると感じられた。

平成27年度 公益社団法人神奈川県介護福祉士会 定時社員総会開催

平成27年6月13日(土)13時30分より、ウィリング横浜研修室(501・502)において平成27年度定時社員総会を開催しました。代議員定数42名中、出席者26名、委任状15名、欠席者1名により総会は成立しました。

野上薫子会長のあいさつに続き、公益社団法人神奈川県社会福祉士の小島操子副会長よりご挨拶をいただきました。

総会は、議長に横須賀・三浦支部の金井直子代議員、議事録署名人には、県央支部の猪俣由美子代議員、湘南東支部の小野裕子代議員が選出され、



金井直子議長

議案の審議が行われました。

第1号議案平成26年度事業報告(案)はコッシュ石井美千代副会長、第2号議案平成26年度決算報告(案)は梅田滋副会長、監査報告については高島さち子監事から報告がありました。採決の結果、全議案は原案通り可決承認され、14時40分に閉会となりました。



平成26年度事業報告

1 介護福祉士の職業倫理並びに専門的知識及び技術の向上に関する事業

(1) 総合的なキャリアアップを目的とする研修

研修名	開催日数	参加者
介護福祉士初任者研修	3日	13名
ファーストステップ研修Ⅰ領域	6日	9名
ファーストステップ研修Ⅱ領域	3日	9名
ファーストステップ研修Ⅲ領域	6日	9名
サービス提供責任者研修	6日	7名

(2) 指導者となるための資格取得を目的とする研修

研修名	開催日数	参加者
介護技術講習指導者養成講習会	3日	24名
介護福祉士実習指導者講習会	4日×2回	62名
実務者研修教員講習会	8日	18名

2 介護福祉に関する調査研究に関する事業

(1) 調査研究

潜在介護福祉士就労促進に向け未就労者の把握と会員の就労状況調査を実施(県補助金事業)

(2) 研究会活動

- 1) 災害対策研究会:4回開催。介護災害ボランティア活動の具体的な活動方法について検討。
 - 2) ケアマネジメント研究会:3回開催。アセスメントシートの有効性を事例に即して検証。
 - 3) 介護技術指導法研究会:30回開催。介護技術応用編の検討および作成。
- (3) 日本介護福祉士会実施の調査に協力 3調査

3 介護福祉教育機関その他関係団体との連携及び協力に関する事業

(1) 保健・福祉・医療等の各団体および行政等との連携

- 1) 社会活動（当会推薦）15 団体に委員推薦
 - 2) 第 1 回「ソーシャルワーカーデー in 神奈川」イベントに主催団体として参加（7月 20 日横浜新都市プラザ）
 - 3) 関係機関との連携
介護福祉士養成校の入学式・卒業式出席、関係機関・団体の総会及び祝賀会等出席
 - 4) (公社) 日本介護福祉士会関係出席
理事会、会長会、関東甲信越ブロック会議、20 周年祝賀会等（埼玉県・東京都）
- (2) 就職相談会への相談員の派遣協力
 - ・ 神奈川県社会福祉協議会主催「福祉のしごとフェア」4 回、相談員 4 名
 - ・ 横浜市社会福祉協議会主催「福祉のしごと☆魅力発見!～福祉の資格を知ろう編」、シンポジスト 1 名、相談員 2 名
 - (3) 介護福祉士国家試験（実技試験）の実地試験委員派遣協力、実地試験委員 5 名推薦

4 介護福祉の普及啓発に関する事業

- (1) 「介護の日」に関する事業
 - 1) 「介護の日」ひろめ隊の活動の実施
11 月 5 日、横浜新都市プラザにて、介護の日 PR クリアファイル 1,000 部配布
 - 2) 「介護の日」記念事業の開催（県委託事業）
11 月 5 日、横浜新都市プラザにて介護セミナー実施。（参加人数：介護技術講習 90 名、介護劇 3 回 120 名、介護相談 56 件、ロボット「パロ」「パルロ」ふれあい体験 50 名）
- (2) 地域毎に介護に関する普及・啓発セミナー等の実施（県補助金事業）

支部名	テ ー マ	参加者
横 浜 北	おいしく、簡単に作れるおせち料理	38 名
川 崎	疾病とアロマと癒しと介護	27 名
湘 南 西	医療崩壊で健康になっちゃった!?	44 名
県 西	認知症ってどういうもの	29 名

- (3) 会報「ほほえみ」の充実・発行
44 号、45 号、46 号を発行
- (4) ホームページによる情報提供

5 福祉サービスの質の向上に関する事業

- (1) 介護職員の資質の向上のための研修
 - 1) スキルアップ研修の実施

研 修 名	日 数	参加者
たんの吸引、経管栄養 ※	1 日	44 名
スーパービジョンの学習 ※	3 日	21 名
介護職に必要な記録の知識と技術	1 日	7 名

※県補助金事業

- 2) 介護技術研修の実施

研 修 名	日 数	参加者
尊厳を支え自立支援に配慮した介護技術研修会 ※	2 日×2 回	56 名
介護技術研修会	5 回	66 名

※県補助金事業

- 3) 地域研修（実務者研修読替え）の実施（県補助金事業）

研 修 名	日 数	参加者
「障害者」についての知識と理解	2 日	26 名
「認知症」についての知識と理解	2 日	57 名

- 4) 日本介護福祉士会主催の各種研修会への参加
- (2) 地域を中心とした研修

支部名	テ ー マ	参加者
横 浜 北	高齢者向けレシピ集を使って	19 名
	介護技術「持ち上げない介護」	6 名
	レクリエーションについて学ぶ	9 名
	適切なおむつの選び方、使い方	7 名
	立ち上がりと移乗介助	5 名
川 崎	紙パンツのさわやかな使い方	22 名
県 央	介護技術の見直しおよび情報交換会	11 名
湘 南 東	高齢者のソフト食を学ぶ	10 名
	障害児支援施設「湘南だいち」施設見学会	7 名
	介護技術（基礎・応用編）	12 名
	ケア記録の書き方	12 名
相 模 原	基本マニュアルを使用した介護技術研修	13 名

(3) 受験対策事業

1) 介護福祉士国家試験受験対策事業

介護福祉士国家試験受験対策講座 ※	4日	60名
全国一斉模擬試験	1日	45名
介護実技講習会	1日	11名

※県補助金事業

2) 介護支援専門員実務研修受講試験受験対策事業

準備講習会	2日	37名
模擬試験(当会独自問題)	1日	47名

3) 実務者研修の実施(通信課程修了者4名)

スクーリング(介護過程Ⅲ8日、医療的ケア演習1日)

(4) 介護職員の資質向上のための研修及び介護技術指導等の受託事業の積極的な実施

1) 介護技術研修会

委託機関・事業所	日数	参加者合計
横浜社会福祉協議会	5日	91名
神奈川県社会福祉協議会	4日	179名
神奈川県高齢者福祉施設協議会	21日	551名
社会福祉法人湘南の風	2日	30名
小田原市永耕園	1日	16名
屏風ヶ浦ケアプラザ	1日	55名
なかはら訪問介護支援事業所	4日	56名
社会福祉法人百鷗	1日	9名
川崎市社会福祉協議会	1日	12名

2) 施設利用者虐待防止

委託機関・事業所	参加者
神奈川県高齢者福祉施設協議会茅ヶ崎・寒川地区	60名
神奈川県高齢者福祉施設協議会秦野・伊勢原地区	30名

3) 介護職員等のための事業所内研修

委託機関・事業所	内容	参加者
介護支援センターなごみ	記録の書き方	15名
特別養護老人ホーム甘露苑	介護技術	16名
(株)エタナール	障害者の虐待防止	6名

(5) 講師養成事業 当会認定介護技術指導者スキルアップ研修会の実施 12回 延べ186名出席

(7) 介護相談事業の実施

1) 介護相談

支部	日数	相談員	相談件数
横浜北	3日	14名	96件
横浜南	1日	7名	36件
川崎	1日	6名	12件
横須賀・三浦	2日	6名	8件
県央	1日	7名	42件
湘南東	1日	9名	32件
湘南西	1日	6名	17件
県西	2日	5名	11件
相模原	2日	14名	31件
計	14日	74名	285件

2) 小規模事業所連携事業推進のためのコーディネーター設置事業(県委託事業)

コーディネーター 15名(連絡会2回)

コーディネートユニット 17ユニット

3) 介護職員のための相談、助言事業

“介護職110番”の実施

電話相談41件(男性15名、女性26名)

(7) 福祉サービス第三者評価事業

1) 第三者評価受審施設

高齢・障害施設 5施設

社会的養護関係施設 2施設

2) 評価調査者研修会

①高齢・障害グレード1 ②保育評価項目③神奈川県介護福祉士会方式高齢・障害グレード2 ④社会的養護第三者評価(各1回実施)

3) 評価項目等の精査および検討会

高齢・障害グレード2検討会2回(検討委員5名)

4) かながわ福祉サービス第三者評価推進機構への協力評価機関連絡会2回、事業者説明会(障害・高齢分野2回、保育分野1回、障害者グループホーム1回)、推進機構ガイドライン・ヒアリング1回

(8) 豊かな生活を支援する活動

6月14日横浜山手「エリゼ光」でのイベント開催
参加者49名

6 当法人の目的を達成するために必要な事業

潜在的有資格者再就業支援研修(県委託事業)

1回 参加者5名

平成26年度決算報告

貸借対照表

平成27年3月31日現在(単位:円)

貸借対照表表. Columns: 科目, 当年度, 前年度, 増減, 科目, 当年度, 前年度, 増減. Rows include assets (I) and liabilities/equity (II, III).

正味財産増減計算書内訳表

平成26年4月1日~平成27年3月31日

正味財産増減計算書内訳表表. Columns: 科目, 合計, 科目, 合計. Rows detail the breakdown of net asset changes, including operating income and expenses.



こんにちは

横浜北支部です！



横浜北支部は、青葉区、旭区、神奈川区、港北区、瀬谷区、都筑区、鶴見区、保土ヶ谷区、西区、緑区の10区で構成されています。対象エリアが広域であるのみでなく、会員数も158名と多く、支部としての活動も代議員や会員の皆様と力を合わせて積極的に行っております。横浜北支部の方々は、学ぶ機会への参画、地域への専門職としての貢献に非常に強い思いを持っていらっしゃいます。そのような方々と一緒に支部活動をする事で、昨年度は介護職員対象の研修会、一般の方々も対象とした高齢者に優しい料理の教室、地域に出向いての出張介護相談会などを数多く実施してまいりました。ご参加いただいた方々からもご好評をいただきました。



支部のみなさんへ！

今年度も積極的に研修会や介護相談会などを計画し、開催してまいります。開催には、計画、準備、当日の運営などのサポートがとても重要です。さらに、会員として、支部の活動内容へのご意見、地域住民としてのご意見をいただくと支部にとって大変貴重なものとなります。活動エリアの開拓や活動等において、一部のメンバーで作上げる支部ではなく、会員の皆様のご意見で、皆さんと一緒に作り上げる支部にしていきましょう！

支部長 川原 俊一郎

ソーシャルワーカーデー2015開催



7月19日(日)9:30~12:00、横浜市健康福祉総合センターにおいて、「未来のソーシャルワーカーへ」というテーマで講演会が開催されました。(公社)神奈川県社会福祉士会、神奈川県精神保健福祉士協会、神奈川県医療社会事業協会、(公社)神奈川県介護福祉士会、日本社会福祉士養成校協会神奈川県支部、日本精神保健福祉士養成校協会の6団体の主催です。

「海の日にはソーシャルワーカーデー～あなたの身近にソーシャルワーカーがいます」と題し、昨年初めて「ソーシャルワーク」を視点に県内上記6団体が連携し、横浜そごう前イベント広場でミニシンポジウムや相談会等にぎやかにイベントが開催されました。

今年は、「未来のソーシャルワーカーへ～ソーシャルワーカーの関わりから見えてくるもの～」と題して、就労支援センターMEW所長の島津谷賢子氏と利用者の松沢好晃氏による講演でした。福祉を学ぶ学生や福祉関係者、一般の人を含め84名の参加があり、当会からは、運営スタッフとして3名が参加しました。

内容は、島津谷氏による就労支援センターMEW(一般就労を目指す精神科等に通院中の方を支援する施設)の説明や、松沢氏による統合失調症を発病してから現在までの体験談の発表があり、休憩後は参加者から両氏への質問や回答の時間が設けられました。色々な質問に対し両氏による丁寧な回答があり、当事者の思いについて理解が深まる講演会でした。

今回のテーマは「未来のソーシャルワーカーへ」という、



福祉を勉強している学生の皆さんを対象にした企画でしたが、介護福祉士の私達にとっても新鮮な内容でした。

(広報委員 小野 真弓)

ほほえみ塾 暮らしのヒント

“知りたいこと” “教えたいこと” ためになる情報をお届けしたいと思います。いつかきっとお役に立てることと思います。必見ですよ。また、皆様方の投稿もお待ちしています。

今回は脳トレーニングです。 (神奈川県についての雑学)

問題提供者 鈴木勝一様 (94歳)
若い頃は旅行が好きで、日本全国を旅しました。広辞苑と辞書を友として、毎日問題を考えるのが楽しみです。

あなたはいくつ答えられますか？

1. 神奈川県は政令指定都市は
2. 神奈川県の旧国名は
3. 神奈川県で国立公園に指定されている地域は
4. 黒船来航の地は
5. 神奈川県の県木と県花は
6. 始めは横浜駅で売られていた名物駅弁は
7. 鶴岡八幡宮の祭神は
8. 藤沢～鎌倉を走る電車の愛称は
9. 鎌倉幕府の初代将軍は
10. 川崎大師の大師とは
11. 小田原の特産品は板付〇〇〇〇
12. 平塚で行われる夏のイベントは
13. 横浜港大棧橋に接岸する船は必ずくぐる橋
14. 陸蒸気が初めて走ったのは新橋～〇〇
15. 海水浴場第1号となったところは
16. 県内にある新幹線の駅名
17. 東洋最大の米海軍基地があるところは
18. 「城ヶ島の雨」の作詞者は
19. 雨乞い祈願、とうふ料理が名物
〇〇〇神社
20. 真白き富士の嶺、緑の〇〇島



- (答え)
1. 横浜、川崎、相模原 2. 相模・武蔵 3. 箱根 4. 浦賀 5. 銀杏、山百合 6. 焼売弁当 7. 八幡大菩薩 8. 江ノ電 9. 源頼朝 10. 弘法 11. かまぼこ 12. 七夕 13. 横浜ベイクアップ 14. 灘 15. 大磯 16. 新横浜、小田原 17. 横須賀 18. 北原白秋 19. 阿夫利 20. 江ノ島

編集後記

休みなく暑い日が続き、かなりウンザリ…。「今日も暑いけど、お元気ですか？」と朝の体調確認をすると、「でもさ、暑い日が続かないと、おいしいお米は食べられないんだよ」と、大正一桁生まれの利用者さんに諭された。明治生まれの利用者さんたちはよくそう言っていたなあ……。そうしてくれる人にまた出会えて、なんだかじんわりと懐かしさがこみ上げてきた。美味しいお米が育つのに必要な暑い日はもう十分かとは思いますが、暑さの弱まる気配はもうしばらくなさそうです。何はともあれ、みなさん、どうぞご自愛ください。(コッシュ石井)

ほほえみ 48号

平成27年8月25日
発行 公益社団法人神奈川県介護福祉士会
会長 野上 薫子
横浜市中区海岸通4丁目23番地 マリンビル305
電話 045(319)6687 FAX 045(222)6676
E-mail: info@kanagawa-accw.org
印刷 吾妻印刷株式会社 電話 045(730)5161